

5. 財務諸表に対する注記

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

令和3年3月31日現在

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券の評価基準は、分類がその他有価証券のため、時価評価を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当資産

職員の自己都合退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度で発生していると認められる額を計上している。(期末要支給額と中退共積立金との差額不足分)

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に属する期間の支給見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

(5) 棚卸の評価基準

棚卸の評価基準は、最終仕入原価法で行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	180,000,000	0	0	180,000,000
小 計	180,000,000	0	0	180,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	19,252,093	1,517,130	0	20,769,223
事業推進資金積立金	23,174,951	3,482,309	6,392,560	20,264,700
小 計	42,427,044	4,999,439	6,392,560	41,033,923
合 計	222,427,044	4,999,439	6,392,560	221,033,923

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	180,000,000	180,000,000	0	—
小 計	180,000,000	180,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	20,769,223	0	0	20,769,223
事業推進資金積立金	20,264,700	0	20,264,700	0
小 計	41,033,923	0	20,264,700	20,769,223
合 計	221,033,923	180,000,000	20,264,700	20,769,223

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
受取民間助成金	熊本留学生交流推進会議	0	30,000	30,000	0	一般正味財産
受取民間助成金	熊本県国際協会	0	62,220	62,220	0	一般正味財産
合 計		0	92,220	92,220	0	

5 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
Barclays BK運用利息	2,741,455
Morgan Stanley FIN運用利息	660,000
合 計	3,401,455